

[004] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10263>

出版情報：語文研究. 4/5, 1956-10-30. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

(鶴記)

各位の御健勝と御活躍を祈る次第である。

○ ことに、さゝやかながら、開講三十周年記念号を世に送る。九大国文学科の伝統と光榮ある歴史とをお作りになった春日、高木、小島の三先生から公私共お忙しいところ、玉稿をお寄せいたゞいて、この記念号

に一段の光彩と意義とを添えることができたことは、まことに慶ばしく、三先生に心から御礼申し上げる。三先生とも感慨無量なるものがありなることと拝察すると共に、今後ともお手篤い御指導をお願い申し上げます。

○ 本号は御投稿を土台にして、特に旧教官諸先生並びに一部卒業生の方々に御執筆を煩わしたところ、御快諾を得たばかりか、

締切期日前後に続々と玉稿が集り、中にはわざ／＼編集部までお運びの上、お手渡して頂いたのもあり、真に感激にたえなかつた。日頃、本誌にお寄せ下さる物心両面の御好意に深く感謝すると共に、編集が手間取って約一カ月後れたことをお詫び申し上げます。

○ 近頃思わぬ所の方々、又は研究室などから、誰それ氏の論文を見たいから第何号を至急送ってほしいというような注文を受けることしば／＼である。当然のこととはいえ、本誌も斯学に漸く重き役割を果しつつあることが偲ばれ、何となく張合が出て欣快至極である。この上は三十年の歴史に培われた学統の上じつくりと腰を据えて、益々堅実に国語、国文学界のため勦力を捧げたいものである。終りに諸先生並び会員

お願い

○ 移動、住所変更等がございました時は、すみやかに、お知らせ願います。

○ 「語文研究」運営上、困難をきたしておりますので、誌費未納の向きはよろしく御配慮をお願いいたします。

は、憶良が筑前国守に在任中採取して配列したのかも知れない。或いは十首中には憶良の創作であるもの、憶良の手が加ばつてゐるものがあるとも考へられる。配列の順序は、憶良が卷十六の編纂者によつてなされたとも考へられる。しかし、一方志賀の白水郎の集団によつて伝誦され、演出されてゐた歌謡を、歌詞も歌の順序もそのまま憶良又は他の人によつて採録されたものを、卷十六の編纂者が載せたことも考へられる。恐らく、志賀の白水郎の集団に歌謡として存在してゐるものに、憶良の手が加はつて（憶良創作の歌も交つてゐるかも知れない）、現存の配列順序（尼崎本のみは異なる）となつたと考へるのが、比較的妥当な見方であらう。以上述べたことによつて、連作の各歌もその配列の順序もすべて憶良一人の創作であるといふ説には賛成し得ないのである。

註

- (1) 沢瀉久孝博士「万葉集の作品と時代」所収、
 (2) 前出拙稿「筑前国志賀白水郎歌十首の複数性について」

執筆者紹介

福良輔	春日	重松雄	鶴内初夫	大田さくを	目加文博	矢野恒正	横山	井手恒雄	平井秀文	黒岩駒男	上村孝二	瀬古友一	笹島吉雄	小島	高木市之助	春日政治	
田日良	和泰	松泰	初久	さくを	文博	恒正	山	井手恒雄	平井秀文	黒岩駒男	上村孝二	瀬古友一	笹島吉雄	小島	高木市之助	春日政治	
本学教授	本学助教授	本学講師	本学助手	佐賀電谷短大助教	福岡女子大学助教	三重大学助教	大阪学芸大学助教	福岡女子大学助教	福岡学芸大学助教	久留米大学助教	鹿兒島大学助教	熊本大学助教	東京女子大学教授	大阪大学教授	日本大学教授	愛知女子短大校長	学士院会員